

小豆ができるまで

1 種まき～芽が出るまで・・・5月中旬～5月下旬

小豆は、春に種をまいて秋に刈り取る豆の仲間です。豆つぶが小さい普通の小豆と豆つぶが大きい大納言の2つに分かれます。



左がエリモシヨウズ、
右がとよみ大納言の種です。



5月中旬頃から種をまきます。
機械を使って、種と一緒に肥料もまきます。

2 芽が出てから～花がさくまで ・・・5月下旬～7月下旬



種をまいて1～2週間で
芽が出ます。



芽が出て葉が開いたら、小豆と小豆の間の土を浅くたがやします。

こうすると土の中に空気が入り根がたくさん出て、小豆が良く育ちます。



小豆は、枝の分かれ目に
小さな黄色い花がさきます

3 サヤがついてから～豆が熟するまで ・・・8月上旬～9月中旬



花がさいた後に、
緑色の^{あずき}小豆の「さや」
がついて、どんどん
大きくなっていきま
す。



「さや」が大きく茶色になると、「さや」の中
では^{あずき}小豆が大きくなり、赤く色づいてきます。
もう少しで刈り取りができます。



4 刈り取り～豆落とし・・・9月下旬～



ほとんどの「さや」が茶色
になったら、小豆を刈り取り
ます。

畑の中の^{あずき}小豆をいちど刈り
倒してから、大きな機械を使
って「さや」をひろい上げ、「さ
や」から^{あずき}小豆を落とします。



収穫した^{あずき}小豆はコンテ
ナに入れて畑から運び出
します。



水分を多く含んでいる
^{あずき}小豆は豆落とし後に、カン
ソウキなどを使ってかわか
します。その後、まざって
いる「くき」や「さや」の
かけらを取りのぞきます。

ごみを取り除いたら、
60kgごと袋に入れて売ら
れます。